



次回開催

2028年7月 [予定]

東京ビッグサイト

— 2027年・秋 出展募集を開始予定 —

出展に関する詳細は事務局までお問い合わせください。

※出展募集開始時期が早まる場合があります。

お問い合わせ先

施設園芸・植物工場展(GPEC) 事務局
アクアポニックス・陸上養殖設備展事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4F
TEL: 03-3503-7703 FAX: 03-3503-7620 MAIL: ofc@gpec.jp

www.gpec.jp
www.gpec.jp/aqua/

GPEC

Greenhouse Horticulture &
Plant Factory Exhibition / Conference
施設園芸・植物工場展

同時開催展



アクアポニックス・陸上養殖設備展

2026

7.15

水
WED

»»

17

金
FRI

東京ビッグサイト 南1・2ホール



技術を極め、未来を耕す、 革新の施設園芸

結果報告書





はじめに



一般社団法人
日本施設園芸協会
会長 安岡 澄人

先ずは、令和8年熊本地震や令和8年8月千葉豪雨により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

当協会としても、早期の復旧・復興にご協力してまいる所存ですので、会員の皆様におかれましてもご支援ご協力よろしくお願いいたします。

「施設園芸・植物工場展2026(GPEC)」は、2026年7月15日から17日の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催され、成功裡に終了いたしました。GPECは「施設園芸」と「植物工場」に特化した国内唯一の専門展示会として第9回目の開催を迎え、共同出展社を含む267社・団体(うちGPEC出展社236社)にご出展いただき、来場者数は目標を上回る45,113名(前回比108.5%)に達しました。また、開会式には、鈴木農林水産大臣と根本農林水産副大臣にご出席いただき、大変熱心にご視察を賜りました。

農政の大きな変革の中で『技術を極め、未来を耕す、革新の施設園芸』をテーマに掲げ、生産者の課題解決につながる展示の他、注目すべき新技術を紹介する「Agri-Tech Award」を初めて

実施いたしました。

また、主催者展示コーナーでは、実行委員長の高山先生のご尽力により、新たな時代に向けた施設園芸の将来像のコンセプトや進化する環境制御・自動化・ロボット化に関する充実した展示の実現、農林水産省をはじめ多くの機関に、施設園芸に関わるスマート技術・国際標準化、再生可能エネルギー、リスク対策、人材育成などホットな政策や取組について情報提供のご協力をいただきました。

さらに、会場内の2ヵ所で実施した『主催者セミナー』では、国内外のフロントランナーによるご講演が行われ、立ち見となるなど盛況でした。『出展者セミナー』においても多くの出展企業が自社ブースと連携した効果的なアピールを行いました。

資材・エネルギー価格の高騰や頻発する自然災害など厳しい状況が続いておりますが、本展示会が皆様への有益な情報提供の場として、業界の発展を支える役割を果たせたのではないかと自負しております。

目標を達成し、大成功へと導くことが出来たのは、出展各社をはじめ、農林水産省・経済産業省等の関係省庁・団体、関係各位のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

ここに、今回の結果をご報告申し上げるとともに、2年後の次回GPEC2028に向け、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

はじめに

1. 開催概要	2
2. 展示内容と構成	3
主な展示内容	
出展分野割合	
3. 出展者一覧	4
4. 会場MAP	5
5. 出展者アンケート	7
GPEC	
アクアポニックス・陸上養殖設備展	
6. 来場者分析	10
来場者数	
業種別比率	
地域別比率	
7. 来場者アンケート	11
8. 併催行事	13
GPEC開会式	
出展者交流会	
GPEC出展者表彰制度 Agri-Tech Award	
GPEC主催者展示コーナー	
GPEC主催者セミナー	
アクアポニックス・陸上養殖設備展主催者セミナー	
出展者セミナー	
9. 来場誘致	18

① 開催概要

会 期	2026年7月15日(水)～17日(金)	会 場	東京ビッグサイト 南1・2ホール(10,000㎡)
開場時間	10:00～17:00	入場方法	Web事前来場登録

GPEC 施設園芸・植物工場展

開催概要

名 称	施設園芸・植物工場展2026(GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
テ ー マ	技術を極め、未来を耕す、革新の施設園芸
主 催	(一社)日本施設園芸協会
後 援	農林水産省、経済産業省、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同)
共 催	アテックス(株)
協 賛	オランダ王国大使館、駐日イスラエル大使館 経済部、千葉大学 園芸学部、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、(一社)園芸学会、JA包装園芸資材協会、植物工場普及振興会、(一社)全国農業改良普及支援協会、全国農業高等学校長協会、全国農業資材商業会、全国農業大学校協議会、(一社)全国肥料商連合会、全国野菜園芸技術研究会、(特非)地中熱利用促進協会、日本園芸農業協同組合連合会、(一社)日本花き卸売市場協会、(一社)日本花き生産協会、(一社)日本果樹種苗協会、(一財)日本GAP協会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本種苗協会、日本生物環境工学会、(一社)日本土壌肥料学会、(一社)日本農業機械化協会、(一社)日本農業機械工業会、日本農業気象学会、(公社)日本農業法人協会、日本バイオスティミュラント協議会、日本ビニル工業会、(一社)日本有機資源協会、日本養液栽培研究会、(一財)日本立地センター、(株)農協観光、農業施設学会、農業データ連携基盤協議会、(一社)農業電化協会、クロップライフジャパン、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会、(特非)植物工場研究会 (順不同)
出展者数	国内外236社・団体(共同出展含む)

GPEC2026実行委員

委員長 高山弘太郎	豊橋技術科学大学/大学院 工学研究科 機械工学系 教授 愛媛大学/大学院 農学研究科 食料生産学専攻 教授	村田 求之 有光 大幸 五十嵐武彦 岩崎 泰永 長井 匡生 久保田光昭 近藤 了裕	カネコ種苗株式会社/執行役員 施設部長 有光工業株式会社/代表取締役社長 サンキンB&G株式会社/農芸事業部 取締役 事業部長 明治大学 農学部/教授 タキロンシーアイ株式会社/アグリ事業部 アグリ事業部長 アキレス株式会社/農業資材販売部 部長 株式会社サカタのタネ/執行役員 国内営業本部 副本部長 兼 ソリューション統括部 部長
大出 祐造 石黒 信生 福田 晴久 石山 健博 柴田 幹夫 古指 典史	株式会社誠和。/取締役会長 イノチオアグリ株式会社/代表取締役社長 ネボン株式会社/代表取締役社長 兼CEO 全国農業協同組合連合会/耕種資材部 次長 AGCグリーンテック株式会社/事業統括室 室長 東都興業株式会社/取締役 営業本部副本部長 本社営業二部 部長	柴本 勝敏 中野 明正 古田 成広 福嶋 正人	MKVアドバンス株式会社/代表取締役社長 千葉大学 園芸学研究院 宇宙園芸研究センター/教授 フルタ電機株式会社/代表取締役社長 ヤンマーアグリ株式会社/経営企画部 東京企画室 専任部長
渋谷 忠宏 鈴木 格方 丸尾 達 東出 忠桐 鈴木 健嗣	全国野菜園芸技術研究会/会長 渡辺パイプ株式会社/執行役員 グリーン事業部 事業部長 公益財団法人 園芸植物育種研究所/理事長・所長 農研機構 野菜・花き研究部門/所長 株式会社大仙/代表取締役社長	増澤 佳浩	クボタアグリサービス株式会社/農業施設統括部 副部长

(敬称略、順不同、役職は2026年9月時点)

同時開催展

AQUA-AGRI TECH アクアポニックス・陸上養殖設備展

開催概要

名 称	アクアポニックス・陸上養殖設備展2026 Aquaponics and Land-based Aquaculture Equipment Exhibition 2026
主 催	アクアポニックス・陸上養殖設備展推進協議会
共 催	アテックス株式会社
出展者数	国内外31社・団体(共同出展含む)



② 展示内容と構成

主な展示内容

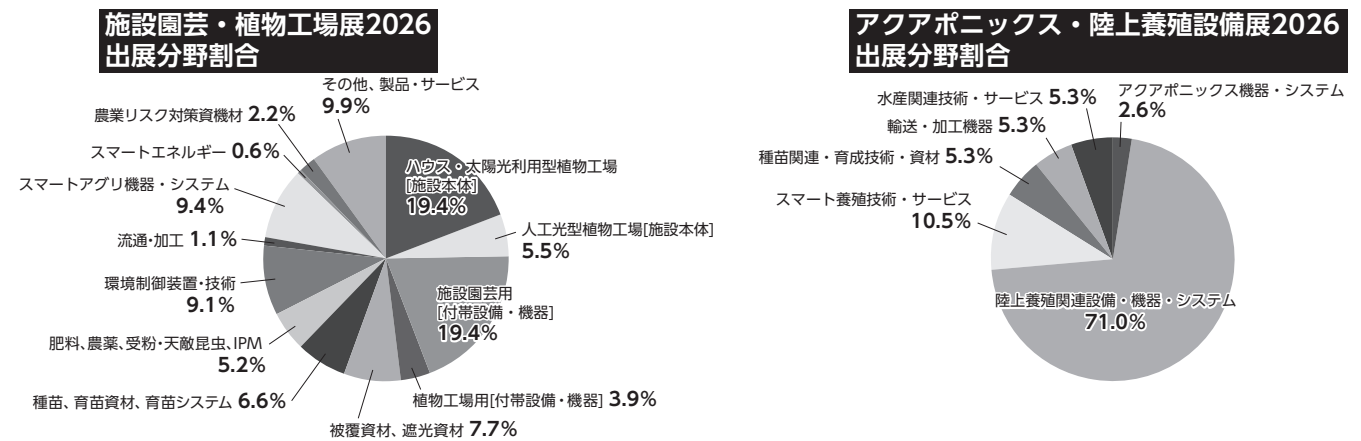
施設園芸・植物工場展

施設本体・資材	
 ハウス・太陽光利用型植物工場(栽培施設・資材) ハウス本体、ハウス構成部材・部品、外張・内張フィルム(農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など)、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品	 人工光型植物工場(栽培施設・資材) 植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品
付帯設備・機器	
 施設園芸用 カーテン装置、自然換気・強制換気装置(天窓、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇など)、局所加温装置、冷・暖房装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対策、省エネ対策、光合成促進装置(炭酸ガス発生装置など)、灌水・散水装置、防除・土壌消毒装置(動力噴霧機、無人防除機 など)、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹棚装置、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、補光装置(電照装置を含む)、収穫機器・運搬資材、ファインパブル発生装置、ハウス清掃用品、洗浄機、その他 付帯設備・機器・装置	 植物工場用(太陽光利用型・人工光型) 光環境装置(LED、蛍光／冷陰極／無電極ランプ など)、給排水処理プラント装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対策、省エネ対策、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、収穫機器・運搬資材、その他 付帯設備・機器・装置
生産管理機器・資材	
 被覆資材、遮光資材 フィルム資材(PE、EVA、PO、フッ素)、ガラス、硬質プラスチック板(アクリル・ポリカーボネート)、遮光ネット、反射型資材、アルミ蒸着ネット、カーテン資材など	 肥料、農薬、受粉・天敵昆虫、IPM 有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など
 種子、育苗資材、育苗システム 種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など	 環境制御装置・技術 光量・温度・湿度・CO ₂ ・風量センサー、土壌成分計測システム、養液管理システム、その他各種センサー、タイマー、計測・制御システム、自動機器 など
流通・加工・包装	
 流通・加工 計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など	
スマートアグリ提案	
 スマートアグリ機器・システム IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術、アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット(播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機) など	 スマートエネルギー 太陽光発電・太陽熱利用システム、バイオマスエネルギー、木質チップ・ペレットボイラー、バイオガス発電、地中熱ヒートポンプ、排熱利用技術、風力・水力発電システム、EMS・バッテリーシステム、CO ₂ 回収・再利用システム など
農業リスク・労務管理	
 農業リスク対策資材 自然災害対策、監視カメラ、センサー、侵入防止装置、暑さ対策、防虫・防鳥ネット、病害虫対策関連製品、非常用電源・蓄電池・自家発電設備、災害時対応型給水・排水システム、通信・遠隔監視システム など	

アクアポニックス・陸上養殖設備展

 アクアポニックス機器・システム アクアポニックスシステム、水耕栽培システム、循環システム、水処理・水質浄化装置、ろ過装置、ろ材、脱窒装置、酸素溶解装置、酸素供給装置、酸素ポンプ、水槽、タンク、ポンプ、給餌機、栽培ベッド、栽培ベンチ装置、培地、アクアポニックスプラント設計・エンジニアリング、ビニールハウス資材機、コンテナ型施設、フィルム、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆資材 他	 陸上養殖関連設備・機器・システム 陸上養殖プラント、閉鎖循環式陸上養殖システム、水処理・水質浄化装置、排水処理装置、ろ過機、ろ材、脱窒装置、気体溶解装置、酸素溶解装置、酸素発生装置、酸素供給装置、酸素ポンプ、酸素ガス、水槽、タンク、ポンプ、給餌機、人工海水、陸上養殖施設・プラント設計・エンジニアリング、コンテナ型施設、フィルム、保温・遮光資材、被覆資材他
 環境制御装置・技術 水温調節装置、熱交換器(ボイラー・ヒートポンプ)、チラー、空調システム、冷・暖房装置、換気装置、断熱材、照明、光環境装置、殺菌・滅菌装置(紫外線・オゾン)、水除菌装置、測定器・センサー(水温、DO、pH、EC、CO ₂ 、湿度、光量等)、環境管理システム、水質管理システム、水質測定器、モニタリング装置、監視システム、水質センサー、測定器、測定カメラ、制御盤、非常用電源・発電装置 他	 スマート養殖技術・サービス IoT・AI活用、クラウドサービス、ビッグデータ解析技術、自動化システム、ロボット、水中ドローン、ゲーム編集技術、管理アプリ、水産DX支援 他
 種苗関連・育成技術・資材 種苗、飼料、肥料、栄養剤、病害対策、ワクチン品種改良技術、孵化装置、採卵技術、運営・参入支援 他	 輸送・加工機器 輸送技術・機器(種苗・活魚・鮮魚)、冷凍・解凍技術、包装機器・資材、水産物生産工場向け機器・システム、貯蔵庫 他
 水産関連技術・サービス 養殖事業者、コンサルティング・サービス、書籍、関連技術・設備・資材 他	

出展分野割合 (小間数ベース)



③ 出展者一覧

あ	ARK アイエンター 愛知製鋼 IFARM アレス アクアインテリス アクボニ アグリジャーナル アソシエイツ アメフレック アリアンテック・ジャパン アリスタライフサイエンス 有光工業 EF Polymer イーズ 石垣 イズミ技研 いど 伊東電機 イノチオアグリ イノバックス 恵斐川工業 イリテック・プラス ウィルモランかど 手郎工業 AGCフロンテック エスベックミツク NTTアグア NDK ECO AGRO MKVアドバンス LS-LINKS 王子エフテックス OATアグリ オガニック・ランド 大阪公立大学 植物工場研究センター オカモト オギハラ工業 OSMIC FOODS オムニア・コンチェルト 環境管理センター	G-34 B-36 J-14 M-30 G-02 E-35 C-35 U-11 C-31 E-28 J-28 J-14 Q-07 E-22 B-14 C-37 C-32 M-22 B-23 S-18 J-04 K-24 J-07 J-37 E-36 C-04 J-24 B-30 G-19 Q-05 K-34 D-01 J-14 J-14 K-21 E-01 C-21 E-26 E-11	か	共栄 木家創研 クォンタムフラワーズ&フーズ クボタ ※クボタアグリサービス グランドグリーン GREENXEXPO 2027 グリーンテック&ラボ 高圧ガス工業 国際農業社(農村ニュース) コスモスエンタープライズ コフロック サイテック サカタのタネ 佐藤養殖 ※ジャパンマグネット 三原計装 三協立山 サンキンB&G 三進金属工業 三和電機 三和電機 サンホープ サンボリ 三洋化成工業 サンリット・シードリングス CMエンジニアリング CKD JRI四国 JFEエンジニアリング ※Priva シブカム・ジャパン ジャパンドームハウス Japan Vertical Farm ※トヨ紡織 ジャパンシステムベジタブル ジャパンマグネット SHOWA LHT 水産経済新聞 スナオ電気 ※山本電機 スイスキューブ 住化株式会社 青森物産県庁施設協議会 セイコーステラ 西部技研 誠和 ※誠和アグリカルチャ 銀和アグリカルチャ セルキューブ・ソリューション ゼロエネルギーグリーンハウス(ZEG)プロジェクト 全国野菜園芸技術研究会 センシフィア 泉州電業 全農グリーンリソース SO PLUS COMPANY ダイキン工業 大興製作所 大山 ダイヤテックス 高田種苗 ※ライク・ズワーン社 タキゲン製造 タキロン・アイ 田中三栄商店 ダブルエム ※アグロインフォ 地中熱利用促進協会 ※イノバックス ※有明未来利用熱利用促進研究会 ※PEC 千葉大学環境健康フィールド科学センター/植物工場研究会 ※仁東 ※いけうち ※リーフ・ラボ 鶴見製作所 TSK デビーアール デワイ・ジャパン 東海テクノ 東海物産 東京インキ 東都興業 トミタテクノロジーズ 富永商事ホールディングス ※プリバ(社) ※リッシェル グループ トミテック トヨダネ 日刊 みなと新聞	J-14 M-30 G-02 E-35 C-35 U-11 C-31 E-28 J-28 J-14 Q-07 E-22 B-14 C-37 C-32 M-22 B-23 S-18 J-04 K-24 J-07 J-37 E-36 C-04 J-24 B-30 G-19 Q-05 K-34 D-01 J-14 J-14 K-21 E-01 C-21 E-26 E-11 J-14 A-23 S-30 G-21 M-04 E-20 L-37 C-31 E-07 A-16 K-23 D-37 M-28 B-19 S-23 F-03 J-32 K-35 G-23 G-10 C-36 N-04 Q-01 J-14 E-19 E-34 M-02 E-37 N-02 J-14 J-25 G-28 E-21 N-23 C-23 G-37 N-21 J-19 Q-05 A-22 A-02 M-10 B-07 J-14 C-02 T-30 U-07 R-03 F-05 K-19 G-24 G-19 G-04 Q-10 F-01 G-16 B-25 K-04 B-32 E-09 J-02 U-12 C-30 J-14 E-33 M-26 M-15 M-16 B-01 S-12 M-23 B-25 K-04 B-32 E-09 J-02 C-30 J-14 E-33 M-26 M-15 M-16 B-01 S-12 M-23 G-22 A-03 F-37	き	日建リース工業 日建リース工業 日東工業 日本施設園芸協会 日本種苗協会 日本農業新聞 日本農業新聞社 園芸情報センター 日本バイオステディミュラント協議会 日本養液栽培研究会 日本ワイドクロス NEXYZ ネボン 農研機構 野菜花き研究部門 農山漁村文化協会(農文協) ノーユー社 ※TAVLIT ※ZIDE ※NUFiltration ハイクム ハルボックスジャパン ハカルプラス 箱明 林養魚場 ハンナ インストルメンツ・ジャパン BASFジャパン ヒラカフ フレイトフローム FieldWorks フィッシャージャーナル フィリップス(シグニファイ) 福井県農林水産部園芸振興課 福井シード / セトラスホールディングス 富士フィルタ工業 フタバ産業 フタバ化学 プラントテックス プラントフォーム フルタ電機 ※フルタ・エンネツ ※フルタ熱機 フレスカ ※ウエキコーポレーション プロスタッフ 兵庫機械工業 ベストクローブ ホーグス ホタルクス まだらシルク農園 丸光製作所 ニホラス化学 ※カナモト ※松本産業 みらの産業 MIRAI 明治大学 植物工場基盤技術研究センター メイトファーム	N-11 E-30 E-15 N-37 J-37 N-25 U-10 J-14 U-24 D-02 J-26 S-07 U-25 U-28 A-04 B-28 J-14 K-02 Q-14 B-35 G-36 C-24 Q-03 J-14 G-20 A-36 N-14 J-34 B-21 C-34 M-19 F-02 J-35 G-35 Q-28 E-32 B-37 S-28 C-22 K-32 J-23 K-02 G-25 M-07 Q-16 J-19 K-22 M-14 E-24 N-07 J-19 U-30 A-05 R-04 J-14 J-19 J-30 K-30 B-34 J-14 E-14 Q-23 G-15 Q-21 J-10 G-14 E-10 Q-02 P-01 J-01 N-16 G-32 M-01 K-03 J-36 E-23
	ARK アイエンター 愛知製鋼 IFARM アレス アクアインテリス アクボニ アグリジャーナル アソシエイツ アメフレック アリアンテック・ジャパン アリスタライフサイエンス 有光工業 EF Polymer イーズ 石垣 イズミ技研 いど 伊東電機 イノチオアグリ イノバックス 恵斐川工業 イリテック・プラス ウィルモランかど 手郎工業 AGCフロンテック エスベックミツク NTTアグア NDK ECO AGRO MKVアドバンス LS-LINKS 王子エフテックス OATアグリ オガニック・ランド 大阪公立大学 植物工場研究センター オカモト オギハラ工業 OSMIC FOODS オムニア・コンチェルト 環境管理センター	G-34 B-36 J-14 M-30 G-02 E-35 C-35 U-11 C-31 E-28 J-28 J-14 Q-07 E-22 B-14 C-37 C-32 M-22 B-23 S-18 J-04 K-24 J-07 J-37 E-36 C-04 J-24 B-30 G-19 Q-05 K-34 D-01 J-14 J-14 K-21 E-01 C-21 E-26 E-11		共栄 木家創研 クォンタムフラワーズ&フーズ クボタ ※クボタアグリサービス グランドグリーン GREENXEXPO 2027 グリーンテック&ラボ 高圧ガス工業 国際農業社(農村ニュース) コスモスエンタープライズ コフロック サイテック サカタのタネ 佐藤養殖 ※ジャパンマグネット 三原計装 三協立山 サンキンB&G 三進金属工業 三和電機 三和電機 サンホープ サンボリ 三洋化成工業 サンリット・シードリングス CMエンジニアリング CKD JRI四国 JFEエンジニアリング ※Priva シブカム・ジャパン ジャパンドームハウス Japan Vertical Farm ※トヨ紡織 ジャパンシステムベジタブル ジャパンマグネット SHOWA LHT 水産経済新聞 スナオ電気 ※山本電機 スイスキューブ 住化株式会社 青森物産県庁施設協議会 セイコーステラ 西部技研 誠和 ※誠和アグリカルチャ 銀和アグリカルチャ セルキューブ・ソリューション ゼロエネルギーグリーンハウス(ZEG)プロジェクト 全国野菜園芸技術研究会 センシフィア 泉州電業 全農グリーンリソース SO PLUS COMPANY ダイキン工業 大興製作所 大山 ダイヤテックス 高田種苗 ※ライク・ズワーン社 タキゲン製造 タキロン・アイ 田中三栄商店 ダブルエム ※アグロインフォ 地中熱利用促進協会 ※イノバックス ※有明未来利用熱利用促進研究会 ※PEC 千葉大学環境健康フィールド科学センター/植物工場研究会 ※仁東 ※いけうち ※リーフ・ラボ 鶴見製作所 TSK デビーアール デワイ・ジャパン 東海テクノ 東海物産 東京インキ 東都興業 トミタテクノロジーズ 富永商事ホールディングス ※プリバ(社) ※リッシェル グループ トミテック トヨダネ 日刊 みなと新聞	J-14 M-30 G-02 E-35 C-35 U-11 C-31 E-28 J-28 J-14 Q-07 E-22 B-14 C-37 C-32 M-22 B-23 S-18 J-04 K-24 J-07 J-37 E-36 C-04 J-24 B-30 G-19 Q-05 K-34 D-01 J-14 J-14 K-21 E-01 C-21 E-26 E-11 J-14 A-23 S-30 G-21 M-04 E-20 L-37 C-31 E-07 A-16 K-23 D-37 M-28 B-19 S-23 F-03 J-32 K-35 G-23 G-10 C-36 N-04 Q-01 J-14 E-19 E-34 M-02 E-37 N-02 J-14 J-25 G-28 E-21 N-23 C-23 G-37 N-21 J-19 Q-05 A-22 A-02 M-10 B-07 J-14 C-02 T-30 U-07 R-03 F-05 K-19 G-24 G-19 G-04 Q-10 F-01 G-16 B-25 K-04 B-32 E-09 J-02 U-12 C-30 J-14 E-33 M-26 M-15 M-16 B-01 S-12 M-23 B-25 K-04 B-32 E-09 J-02 C-30 J-14 E-33 M-26 M-15 M-16 B-01 S-12 M-23 G-22 A-03 F-37		日建リース工業 日建リース工業 日東工業 日本施設園芸協会 日本種苗協会 日本農業新聞 日本農業新聞社 園芸情報センター 日本バイオステディミュラント協議会 日本養液栽培研究会 日本ワイドクロス NEXYZ ネボン 農研機構 野菜花き研究部門 農山漁村文化協会(農文協) ノーユー社 ※TAVLIT ※ZIDE ※NUFiltration ハイクム ハルボックスジャパン ハカルプラス 箱明 林養魚場 ハンナ インストルメンツ・ジャパン BASFジャパン ヒラカフ フレイトフローム FieldWorks フィッシャージャーナル フィリップス(シグニファイ) 福井県農林水産部園芸振興課 福井シード / セトラスホールディングス 富士フィルタ工業 フタバ産業 フタバ化学 プラントテックス プラントフォーム フルタ電機 ※フルタ・エンネツ ※フルタ熱機 フレスカ ※ウエキコーポレーション プロスタッフ 兵庫機械工業 ベストクローブ ホーグス ホタルクス まだらシルク農園 丸光製作所 ニホラス化学 ※カナモト ※松本産業 みらの産業 MIRAI 明治大学 植物工場基盤技術研究センター メイトファーム	N-11 E-30 E-15 N-37 J-37 N-25 U-10 J-14 U-24 D-02 J-26 S-07 U-25 U-28 A-04 B-28 J-14 K-02 Q-14 B-35 G-36 C-24 Q-03 J-14 G-20 A-36 N-14 J-34 B-21 C-34 M-19 F-02 J-35 G-35 Q-28 E-32 B-37 S-28 C-22 K-32 J-23 K-02 G-25 M-07 Q-16 J-19 K-22 M-14 E-24 N-07 J-19 U-30 A-05 R-04 J-14 J-19 J-30 K-30 B-34 J-14 E-14 Q-23 G-15 Q-21 J-10 G-14 E-10 Q-02 P-01 J-01 N-16 G-32 M-01 K-03 J-36 E-23

社名50音順、海外企業は末尾
※共同出展、同時開催展を含む

南 1

01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17

千葉大学環境健康フィールド科学センター／植物工場研究会

U 07 全国野菜園芸技術研究会 ※U-07

T 08 セミナー会場 A

S 09 セミナー会場 A

R 10 セミナー会場 A

Q 11 セミナー会場 A

P 12 セミナー会場 A

N 13 セミナー会場 A

M 14 セミナー会場 A

L 15 セミナー会場 A

K 16 セミナー会場 A

J 17 セミナー会場 A

I 18 セミナー会場 A

H 19 セミナー会場 A

G 20 セミナー会場 A

F 21 セミナー会場 A

E 22 セミナー会場 A

D 23 セミナー会場 A

C 24 セミナー会場 A

B 25 セミナー会場 A

A 26 セミナー会場 A

ラウンジ



出入口

登録所

南 2

18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37

出展者商談コーナー

U 18 イノチオアプリ

T 19 佐藤産業 ※ジャパンマグネット

S 20 佐藤産業 ※ジャパンマグネット

R 21 フルタ電機 ※フルタ・エンネツ ※フルタ熱機

Q 22 DanDutch / GreenSquare International ※Urbinate - TTA - Staal&Plast - Danvan - ※Verkade Climate - A1 Group - Dutch Lion - ※Hortimat - NLight - Van Dijk Heating- NPI

P 23 セミナー会場 B

N 24 セミナー会場 B

M 25 セミナー会場 B

L 26 セミナー会場 B

K 27 セミナー会場 B

J 28 セミナー会場 B

I 29 セミナー会場 B

H 30 セミナー会場 B

G 31 セミナー会場 B

F 32 セミナー会場 B

E 33 セミナー会場 B

D 34 セミナー会場 B

C 35 セミナー会場 B

B 36 セミナー会場 B

A 37 セミナー会場 B

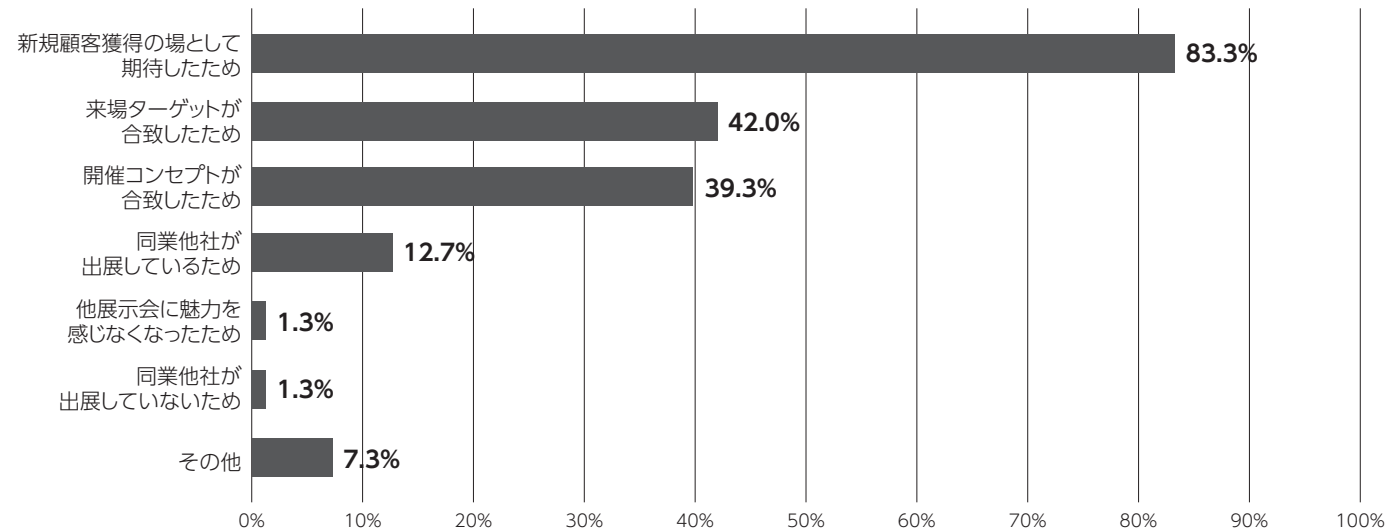
ラウンジ



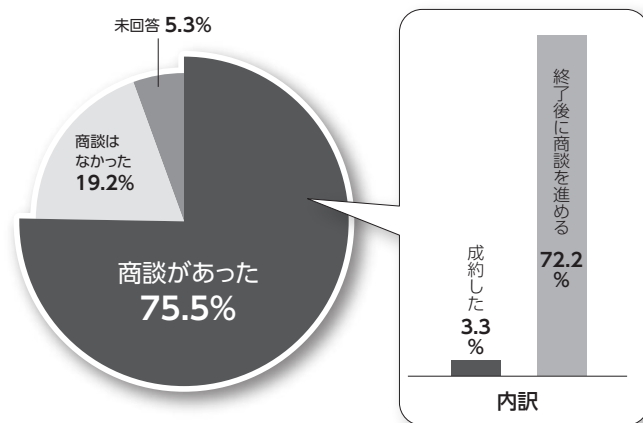
出入口

⑤ 出展者アンケート(施設園芸・植物工場展)

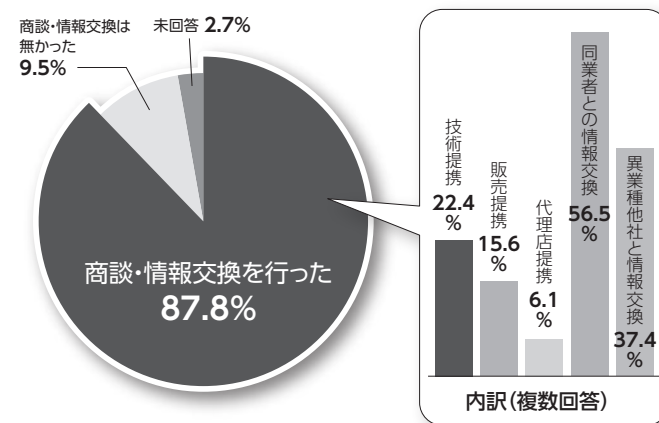
Q1 今回ご出展の理由は？(複数回答)



Q2 会期中における来場者との商談について



Q3 出展者同士の商談・情報交換は？



POINT

本展示会では、「新規顧客獲得の場」として出展を決める企業・団体が多くを占めており、7割を超える出展者が商談につながったと回答。販路拡大に最適な展示会として確立している。また、出展者同士、特に同業者との活発な情報交換も行われており、業界内の協業関係構築にも寄与している。

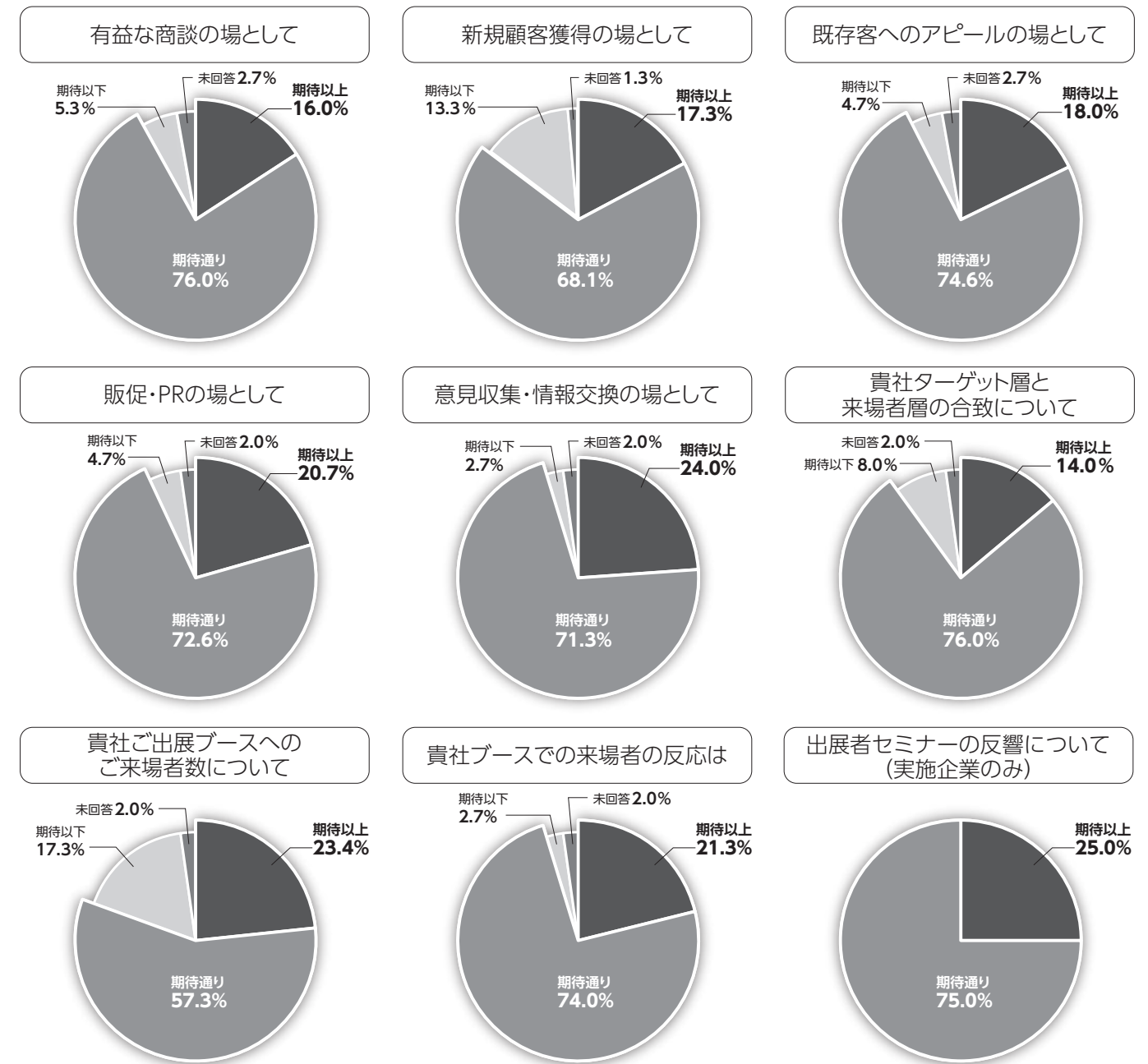
出展者の感想

良かった点

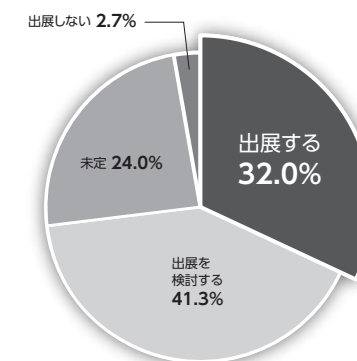


- ★来場者の質が高く、多くの有意義な商談ができた。
- ★前回よりも来場者数が多く、活気があった様に思う。
- ★期待より来場者が多く、アピールにつながった。
- ★幅広い客層に製品を認知してもらうことができた。
- ★出展セミナーの参加者が多く、ブースへの流入にもつながった。
- ★パビリオンブースにて、各社の取組など情報交換ができた。
- ★表彰制度によりPRの機会が増えた。

Q4 今回の出展に対する評価は？



Q5 次回の出展参加について

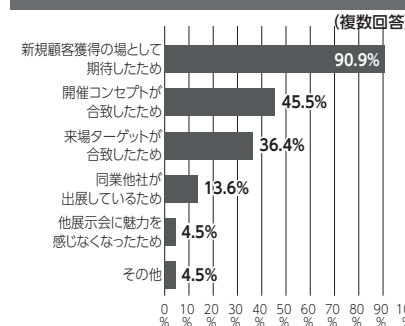


POINT

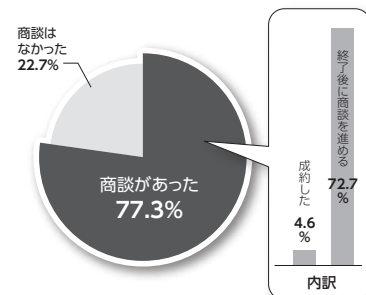
今回の出展を踏まえ、約7割の企業・団体が次回出展に向けて前向きに検討すると回答。また、「出展する」と回答した企業・団体の8割近くが同規模以上の小間数での出展を予定している。

⑤ 出展者アンケート(アクアポニックス・陸上養殖設備展)

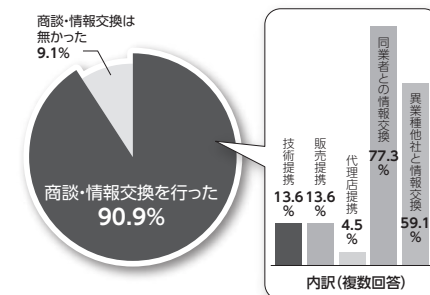
Q1. 今回で出展の理由は？



Q2. 会期中における来場者との商談について

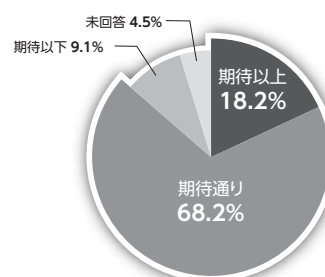


Q3. 出展者同士の商談・情報交換は？

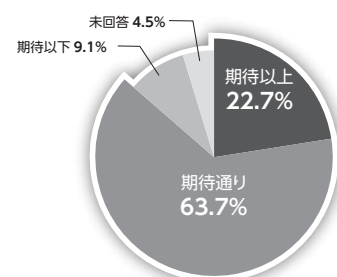


Q4. 今回の出展に対する評価は？

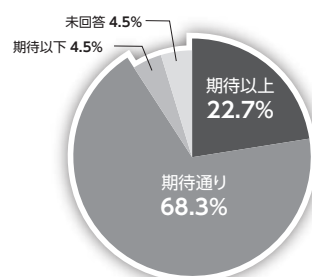
有益な商談の場として



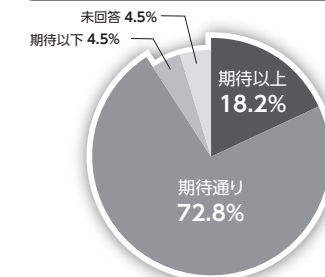
新規顧客獲得の場として



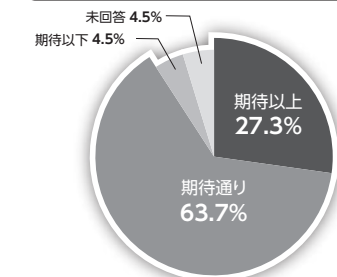
既存客へのアピールの場として



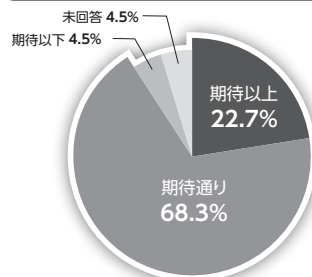
販促・PRの場として



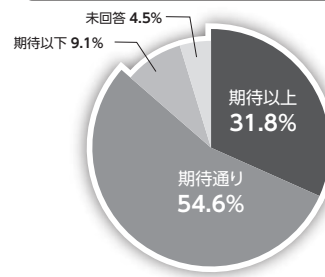
意見収集・情報交換の場として



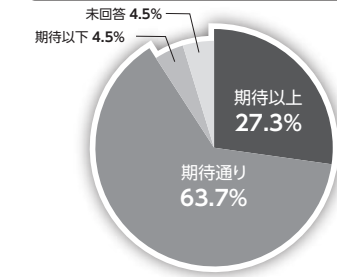
貴社ターゲット層と来場者層の合致について



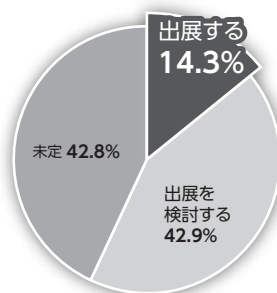
貴社で出展ブースへのご来場者数について



貴社ブースでの来場者の反応は



Q5. 次回の出展参加について



出展者の声

- ★来場される企業の業種の幅が広く、多様な接点を持つことができた。
- ★陸上養殖をはじめたいと考えている顧客訪問が多かった。
- ★同業者や来場者と直接話すことができ、生の声を聞くことができた。
- ★様々な業種の方との出会いの場となった。

⑥ 来場者分析

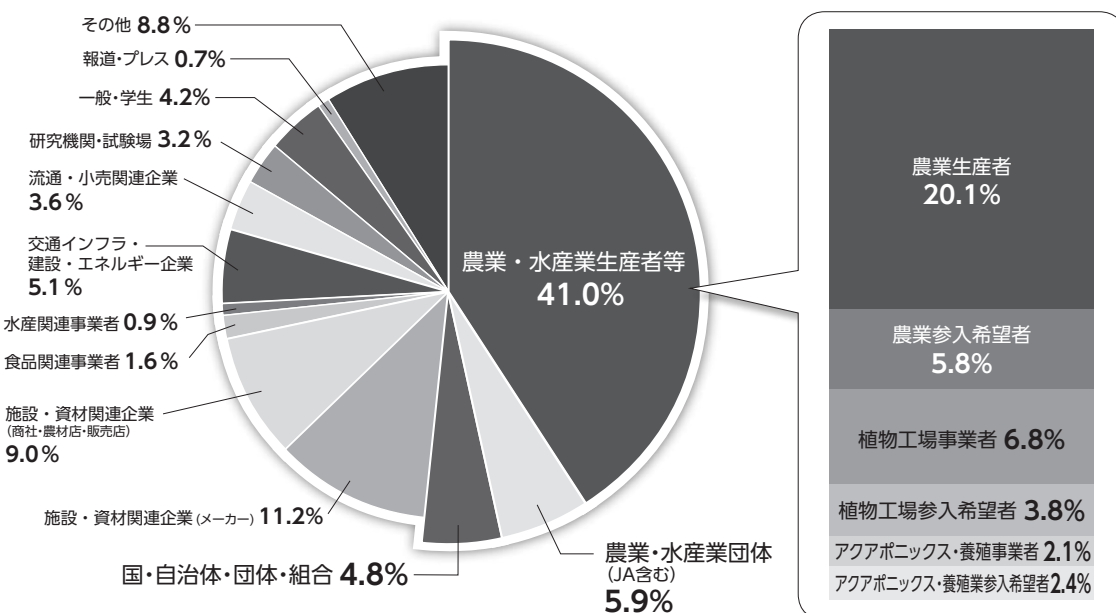
会期3日間での登録者数は16,976名、来場者数は45,113名となった。農業生産者を中心に農業団体、施設・資材関連企業等が多く来場し、出展者との商談・交流や、業界の最新情報の収集が活発に行われた。

来場者数

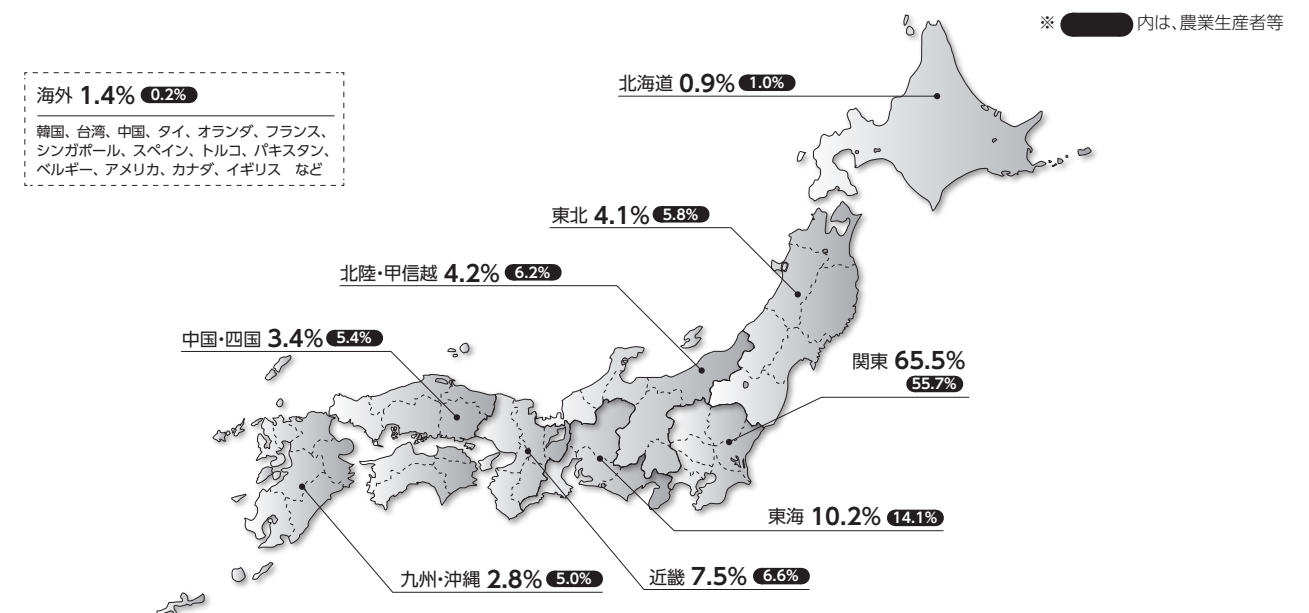
日付	天気	登録者数	来場者数
7月15日(水)	晴れ	5,241	13,812
7月16日(木)	曇り	5,948	15,893
7月17日(金)	曇りのち雨	5,787	15,408
合計		16,976	45,113

*登録者数：氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。
*来場者数：来場した延べ人数(再入場を含む)

業種別比率

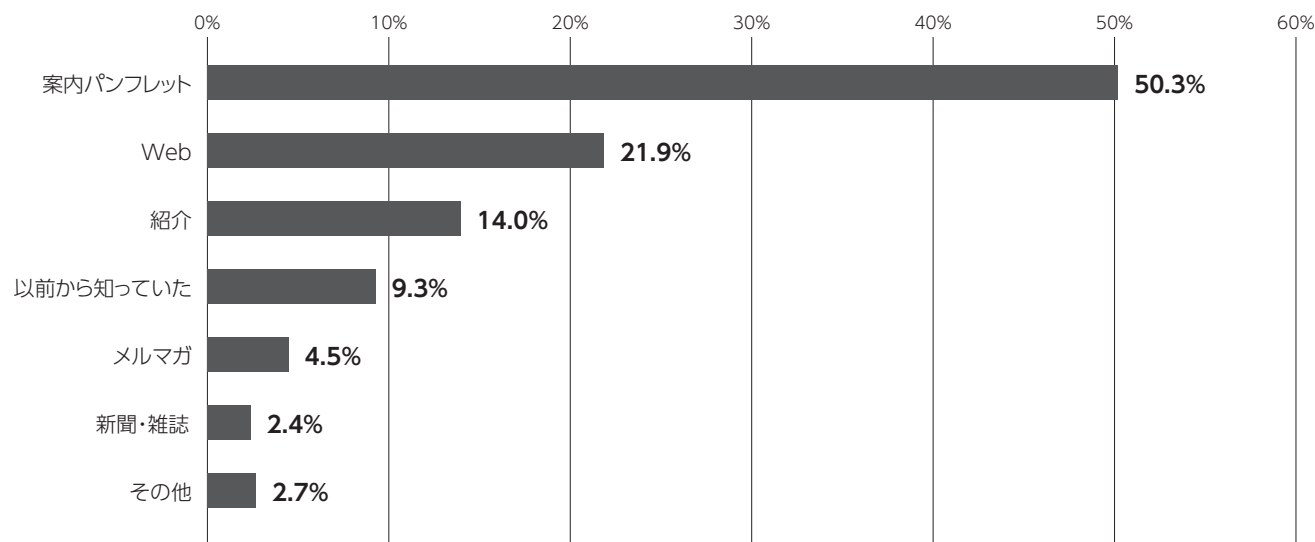


地域別比率

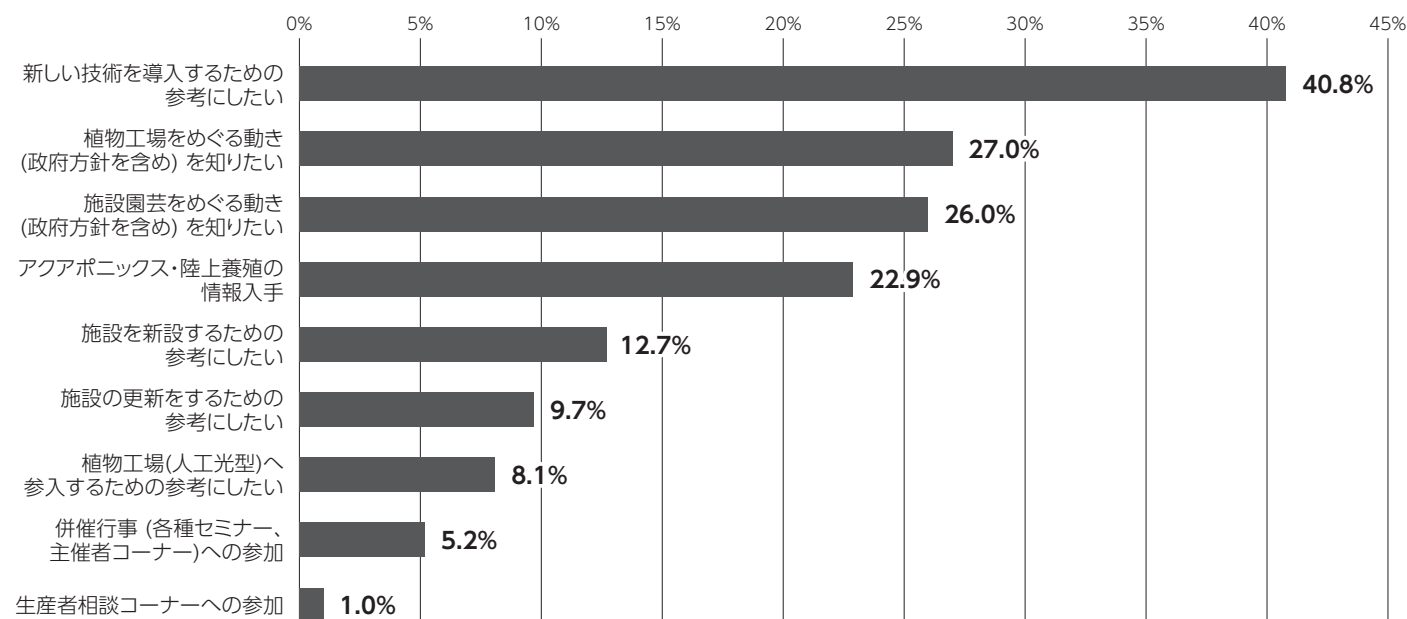


7 来場者アンケート

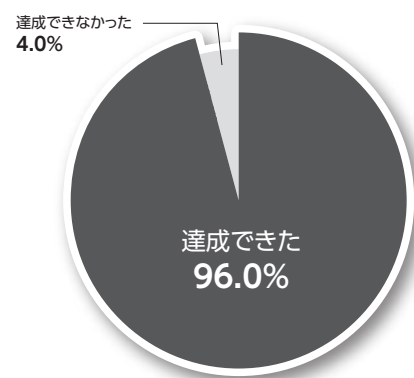
Q1 本展を何を通じて知りましたか？（複数回答）



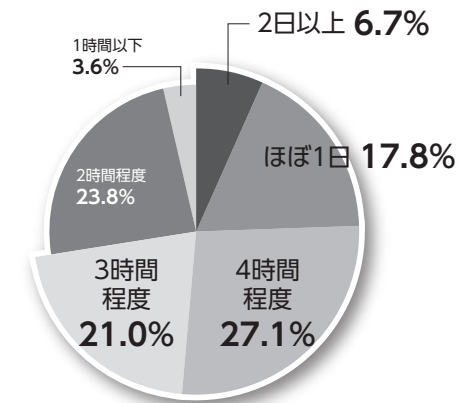
Q2 本展に来場された目的は？（複数回答）



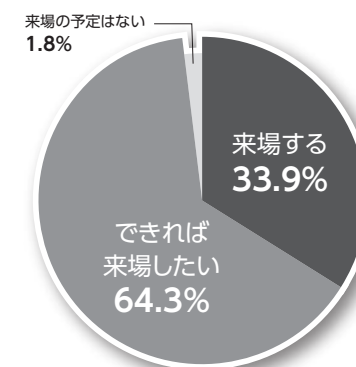
Q3 ご来場の目的は達成されましたか？



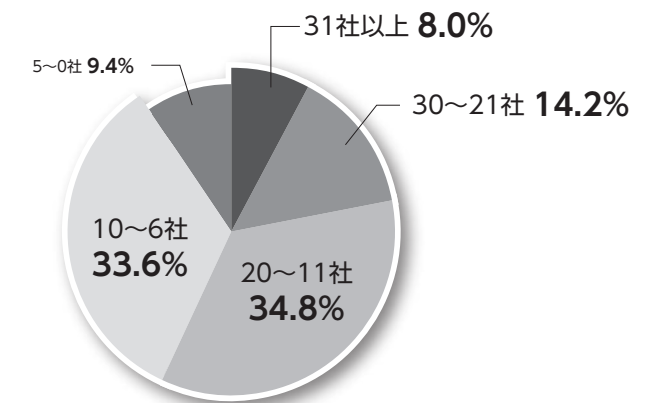
Q4 会場での滞在時間は？



Q6 次回の来場予定は？



Q5 会場での訪問社数は？



POINT 来場目的として「新技術導入の検討」「業界をめぐる動きを知るため」を挙げる来場者が多い。次回来場を予定する声も多く、2年に1度、業界の最新情報が集まる展示会として認知されている。



来場者のコメント

良かったところ

- ★多様な農業資材について、一度に情報収集することができるのは利点。【農業生産者】
- ★水耕栽培の新技術のヒントを得ることができた。【植物工場事業者】
- ★日常では触れる機会がない機器の実演をみることもできた。【国・自治体】
- ★業界の将来につながる技術・指針を知るきっかけとなった【学生】
- ★スマートアグリ技術の進展を感じられた。【農業生産者】

- ★様々な技術を確認することで、予定していた計画をより明確にできた。【システム開発関連】
- ★新技術に多く触れることができ、導入の良い指標になった。【農業生産者】
- ★実物の稼働デモが見られるのはメリット。【資材関連企業】
- ★施設園芸業界の現状を知るための助けとなった。【学生】
- ★分野ごとに展示がまとまっているので、比較・検討しやすかった。【農業生産者】
- ★地方では触れる機会が少ない技術を多く知ることができた。【農業法人】

次回への要望

- 資機材・道具類の展示数を増やしてほしい【個人農家】
- 作付け前の1～3月頃の開催も検討してほしい。【流通・小売り関連】
- アポイントを取れるスケジュールリングサイトがほしい。【大使館関係者】

- ポンプや肥料関連の展示を増やしてほしい。【建設関連企業】
- セミナー枠をより拡大してほしい。【施設・資材関連企業】
- アкваポニックス関連の展示の充実。【農業法人】

⑧ 併催行事

GPEC開会式

日 時 2026年7月15日(水) 9:30～10:00 **会 場** 東京ビッグサイト南展示棟2階コンコース特設会場

1. 開会の辞

2. 来賓紹介

農林水産大臣	鈴木 憲和 様
農林水産副大臣	根本 幸典 様
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業政策課 統括地域活性化企画官	大野 理 様
(一社)全国農業協同組合中央会 常務理事	藤間 則和 様
全国農業協同組合連合会 耕種資材部 部長	住田 明子 様
農林中央金庫 営業企画部 部長	浦田 恭宏 様
(公社)全国農業共済協会 常務理事	徳井 和久 様
(株)日本政策金融公庫	
農林水産事業本部 特別参与	清原 実 様

3. 主催者紹介

(一社)日本施設園芸協会 会 長	安岡 澄人
(一社)日本施設園芸協会 前会長	大出 祐造
GPEC実行委員長 豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科 機械工学系 教授	高山 弘太郎

4. 主催者挨拶

(一社)日本施設園芸協会 会 長	安岡 澄人
------------------	-------

5. 来賓挨拶

農林水産大臣	鈴木 憲和 様
--------	---------

6. テープカット

7. 閉会の辞



出展者交流会

日 時 2026年7月15日(水) 17:30～19:00 **会 場** 東京ビッグサイト南展示棟2階コンコース特設会場

1. 開会の辞

2. 主催者挨拶・乾杯

施設園芸・植物工場展2026(GPEC)実行委員長 豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科 機械工学系 教授／ 愛媛大学 大学院 農学研究科 食料生産学専攻 教授	高山 弘太郎
--	--------

3. 食事・歓談交流

4. 中締め

(一社)日本施設園芸協会 前会長	大出 祐造
------------------	-------

5. 閉会の辞



GPEC出展者表彰制度 Agri-Tech Award

GPECでの出展製品・技術(応募総数57点)の中から、各部門で最も優れた製品・技術を審査委員会や来場者投票により選定する出展者表彰制度を初開催した。会期中には「Agri-Tech Award表彰プレゼンテーション【7/15(水)10:30～12:00】」での審査員選考、「オーディエンス賞への来場者投票【7/15(水)10:00～7/16(木)12:00】」によって、各部門での特別賞を決定した。特別賞を受賞した出展者は「Agri-Tech Award特別賞プレゼンテーション【7/17(金)10:30～】」にてプレゼンテーションを実施した。

スマートグリーンハウス賞(データ活用の先進的な施設・資材)

栽培管理・収穫・労働力管理など、生産性や収益性の向上を目指した施設・資材が対象。

特 別 賞	株式会社誠和。	プロトラッカー
	株式会社ダブルエム	自律型温室環境制御装置 DM-ONE
	株式会社クボタ	AI灌水施肥システム「ゼロアグリシリーズ」
	株式会社はれると (イノチオアグリ株式会社グループ企業)	労務管理アプリケーション: agri-board -アグリボード-
	ジャパンプレミアムベジタブル株式会社	イチゴ、トマトの周年栽培を可能とするITグリーンハウス

アグリフューチャー賞(農業革新)

施設園芸の将来像を提示する、革新的な技術・システムが対象。

特 別 賞	三菱ガス化学株式会社 (共同出展社: 株式会社カナモト、株式会社松本産業)	SDGs対応型燃料 低炭素燃料(DME)を使用する小型高効率トリジェネレーションシステム
	株式会社クボタ	しおれ検知式自動灌水制御システム「ハミルス」
	トミテック合同会社	ハウス内の全空間の環境(温度湿度)と全作物の成長状態を毎日測定するセンシングロボット
	ハカルプラス株式会社	非破壊硝酸態窒素センサー Folina(フォリナ)
	株式会社大仙	外気導入システム

サステナビリティ賞(持続可能性)

環境負荷低減、資源循環、エネルギー効率化に貢献する持続可能性効果の高い資材・技術が対象。

特 別 賞	株式会社西部技研	大気中CO ₂ 濃縮供給装置: C-SAVE Green®
	株式会社誠和。	光合成モニター
	佐藤産業株式会社	スキマッチ
	フタバ産業株式会社	agleaf®CO ₂ システム
	株式会社ホタルクス	HotaluX AGRI-REDとHotaluX AGRI-BRIGHT BLUEの組合せソリューション

オーディエンス賞(来場者投票)

資材・技術・出展ブース等の、訴求力やデザイン性を評価。来場者の投票により特別賞を選定。

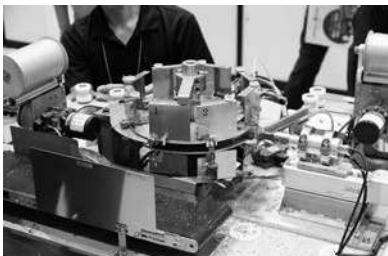
特 別 賞	株式会社誠和。	施設園芸のトータルサポート
	アリアンテック・ジャパン株式会社	出展ブースに展示する製品・技術: 高効率LED照明、定植ロボット、ハウス用養液栽培ベッド、オールインワン型栽培ラック 等
	イノチオアグリ株式会社	次世代灌水管理システム(培地重量センサスラブサイト、灌水制御システム アクアビートメビウス)
	スパイスキューブ株式会社	【アグロット】 屋内の空きスペースを畑に変える、小型農業装置アグロット。本棚サイズ(1m)の大きさから設置可能で、120株/月の葉物野菜の生産が可能です
	東都興業株式会社	TOTOKOGYO×COOLABORATION 東都興業クロスコラボレーション。気候変動、労働力不足を乗り越えるコラボで作った次世代農業プラットフォーム

8 併催行事

GPEC主催者展示コーナー

◎施設園芸・植物工場の将来像コンセプトコーナー

異常気象、食料安全保障、AI時代のスマート化・ロボット化、再エネ・省エネなど、施設園芸・植物工場が取り組まなければならない課題に対し、国際的に関心が高まる環境制御型農業の時代」に必要な技術や、今後の大規模経営～小規模経営の技術ベースとなるハイブリッド型SPA施設園芸、センサー・ロボット技術の進化を、パネル展示や動画、実機展示と実演を通じて紹介した。



展示協力

農研機構 農業機械研究部門、豊橋技術科学大学高山研究室、(株)トクイテン (順不同)

◎喫緊の課題への対応と新たな取組紹介コーナー

施設園芸・植物工場を支える国の行政・研究開発や、生産・流通・加工・リスクヘッジ・金融分野に係る最新の取組をパネル展示し、各機関担当者からの説明も受けることができた。

展示協力

農林水産省 花き産業・施設園芸振興室、農林水産省 新事業・食品産業部、農林水産省 農村政策部、農林水産省 就農・女性課、農林水産省 経営局、農研機構 施設生産研究領域、農研機構 農村工学研究部門、全国農業共済協会、ゆめファーム全農、(独)農畜産業振興機構、日本政策金融公庫 (順不同)



◎Agri-Tech Awardコーナー

Agri-Tech Awardの「スマートグリーンハウス賞」「アグリフューチャー賞」「サステナビリティ賞」の3部門において、審査委員により選考された各賞5点、全15点の製品・資機材のパネル展示を行った。



◎生産者相談コーナー

4つのテーマのスペシャリストが、生産者・農業参入希望者の悩みや課題について助言・提案を行った。

相談テーマ

テーマ	7月15日(水)	7月16日(木)	7月17日(金)
①コンサルティング (栽培技術等)	(株)デルフィージャパン	(株)デルフィージャパン イノチオアグリ(株)	イノチオアグリ(株)
②コンサルティング (農業経営等)	大和フード&アグリ(株)		
③スマートグリーンハウス	(株)分ち合ふ農園	農研機構 野菜花き研究部門	東海大学
	オイシックス・ラ・大地(株)	(株)東馬場農園	千葉大学 農研機構 野菜花き研究部門
④補助金等	農林水産省 花き産業・施設園芸振興室		



GPEC主催者セミナー

7月15日(水)	[AT-01] 10:30～12:00 Agri-Tech Award 表彰プレゼンテーション スマートグリーンハウス賞 (10:30～11:00) アグリフューチャー賞 (11:00～11:30) サステナビリティ賞 (11:30～12:00)	
	[GP-01] 12:15～14:00 [シンポジウム] ◆事例発表3課題 次世代施設園芸宮城拠点からの規模拡大と加工・業務用途を中心とした販路形成について (株)デ・リーフデ北上 総務部長 阿部 淳一 氏 なぜ企業の農業参入は失敗するのか?ー農業にJカーブはない。失敗する設計と勝てる組み方の分岐点 空浮(同)代表社員 大山 隆氏 M&Aを活用した企業連携によるキュウリ経営の規模拡大と地域雇用創出に向けた成長戦略 (株)下村青果商会 取締役 下村 晃廣氏 ◆パネルディスカッション 農研機構 総括執行役 野菜花き研究部門所長 東出 忠桐氏 ファシリテーター (株)デ・リーフデ北上 総務部長 阿部 淳一氏 パネリスト 空浮(同)代表社員 大山 隆氏 (株)下村青果商会取締役 下村 晃廣氏 (株)トマトパーク 取締役 杵刈 寛氏	
	[GP-02] 14:15～15:00 スマート農業／植物工場における育種の重要性 (公財)園芸植物育種研究所 理事長・所長 丸尾 達氏	
	[GP-03] 15:15～16:45 海外講演 オランダにおける次世代施設園芸の最新動向 ダッチ・グリーンハウス・デルタ エグゼクティブアドバイザー フレデリック・フォッセナー氏 日本語通訳 農研機構 総括執行役 野菜花き研究部門所長 東出 忠桐氏	
	[GP-04] 10:45～11:30 耕作放棄地を再生し、高付加価値いちごを直販する経営戦略 (株)いちごとお米 代表取締役 相馬 亮牙氏	
	[GP-05] 11:45～12:30 植物工場イノベーションが拓く未来：世界における技術・事業動向と持続可能な食料生産システム (特非)植物工場研究会 理事長 林 絵理氏	
	[GP-06] 13:00～13:45 デジタル化施設園芸の展望ー見える化の先のイノベーションー 豊橋技術科学大学 大学院工学研究科/愛媛大学 大学院農学研究科 高山弘太郎氏	
	[GP-07] 14:00～14:45 生産向上と省資源を両立する局所CO ₂ 施用技術とその展開 九州大学 大学院農学研究院 准教授/高知大学 IoP共創センター 特任教授 安武 大輔氏	
	[GP-08] 15:00～16:30 [シンポジウム] 環境制御型農業生産の新時代へ(スマート農業の更なる進化に向けて) ーハードウェアからソフトウェアへ、環境制御からダイナミック制御へー ファシリテーター 豊橋技術科学大学・愛媛大学 大学院工学研究科・大学院農学研究科 高山弘太郎氏 パネリスト 農林水産省 生産振興審議官 兼 農産局 佐藤 紳氏 農研機構 総括執行役 野菜花き研究部門所長 東出 忠桐氏 イノチオアグリ(株) 代表取締役社長 石黒 信生氏 (特非)植物工場研究会 理事長 林 絵理氏 ファーマーズ(株) 代表取締役社長 北島 正裕氏 大和フード&アグリ(株) 取締役社長 久枝 和昇氏	

7月16日(木)	[GP-09] 15:15～16:30 海外講演 韓国のスマートファームの現状とAI活用 韓国スマートファーム研究開発事業団 理事長・団長/ソウル大学名誉教授 孫 禎翼氏	
	[AT-02] 10:30～11:30 Agri-Tech Award 特別賞プレゼンテーション スマートグリーンハウス特別賞 (10:30～10:45) アグリフューチャー特別賞 (10:45～11:00) サステナビリティ特別賞 (11:00～11:15) オーディエンス特別賞 (11:15～11:30)	
	[GP-10] 11:45～12:30 ロボットで切り拓く農業の未来～AI・ロボットによる農作業自動化技術～ 東京大学 情報理工学系研究科 教授 深尾 隆則氏	
	[GP-11] 12:45～13:30 スプレーマム栽培におけるスマート農業の実践とAI活用 JAひまわりスプレーマム部会 地域営農ビジョン推進委員 山田 裕也氏	
	[GP-12] 13:45～14:30 データ駆動の産地の未来像 高知県安芸市役所 安芸市長 西内 直彦氏	
	[GP-13] 14:45～15:30 ミニトマトの自動収穫ロボット開発と有機施設園芸の実践 トクイテンの取り組み (株)トクイテン 代表取締役 豊吉隆一郎氏	

7月17日(金)	[AT-02] 10:30～11:30 Agri-Tech Award 特別賞プレゼンテーション スマートグリーンハウス特別賞 (10:30～10:45) アグリフューチャー特別賞 (10:45～11:00) サステナビリティ特別賞 (11:00～11:15) オーディエンス特別賞 (11:15～11:30)	
	[GP-10] 11:45～12:30 ロボットで切り拓く農業の未来～AI・ロボットによる農作業自動化技術～ 東京大学 情報理工学系研究科 教授 深尾 隆則氏	
	[GP-11] 12:45～13:30 スプレーマム栽培におけるスマート農業の実践とAI活用 JAひまわりスプレーマム部会 地域営農ビジョン推進委員 山田 裕也氏	
	[GP-12] 13:45～14:30 データ駆動の産地の未来像 高知県安芸市役所 安芸市長 西内 直彦氏	
	[GP-13] 14:45～15:30 ミニトマトの自動収穫ロボット開発と有機施設園芸の実践 トクイテンの取り組み (株)トクイテン 代表取締役 豊吉隆一郎氏	

アクアポニックス・陸上養殖設備展主催者セミナー

7月15日(水)

[AA-01] 11:00～11:45 陸上養殖業の届出と出荷数量の動向 水産庁 増殖推進部 栽培養殖課 事業転換指導企画官 渡邊 久爾氏	
[AA-02] 13:00～13:45 鉄道だけじゃない! JR四国の陸上養殖の取り組み 四国旅客鉄道(株)(JR四国) 事業開発本部 担当部長 森田 雅祐氏	
[AA-03] 15:30～16:15 地域との共創で未来をつくる ～NTTアクアが実現する“誰でも参加できる陸上養殖”～ (株)NTTアクア 代表取締役 渡辺 聡氏	

7月16日(木)

[AA-04] 10:30～11:15 アクアポニックスの最新動向と収益化に向けた5つの展開モデル (株)アクポニ 代表取締役 濱田 健吾氏	
[AA-05] 12:00～13:30 大手企業が今、水産に挑む理由 MC (株)さかなプロダクション 代表取締役 ながさき一生氏 ー陸上養殖・アクアポニックスで拓く新規事業の最前線ー パネリスト 京王電鉄(株) 経営統括本部 長期戦略室 主任 田中 亮介氏 「なぜ今、水産なのか? 異業種が踏み出したリアルな理由」 奥江戸水産(株) 代表取締役 西方 亮氏 日建リース工業(株) 営業本部 事業開発部 課長代理 吉田優喜博氏	

7月17日(金)

[AA-06] 10:30～11:15 最新導入事例で語るアクアポニックスの現実と事業化へのヒント (株)プラントフォーム 代表取締役CEO 山本 祐二氏	
[AA-07] 15:00～15:45 循環型陸上養殖を通じた食料問題・環境問題解決への挑戦 NTTグリーン&フード(株) 代表取締役社長 久住 嘉和氏	

⑧ 併催行事

出展者セミナー

7月15日(水)					
10:30~11:00	[EX-01]	高透過性能が持続するエフクリーン® 高収量、高品質の実現に！ AGCグリーンテック(株) 東日本営業所 所長補佐	渡邊 守 氏		
13:30~14:00	[EX-02]	その暑さ対策、人の手だけで足りていますか？ 規模別・環境制御の最適解 イノチオアグリ(株) 技術本部 設計開発部 部長	新聞 恵太 氏		
14:15~14:45	[EX-03]	イチゴにおける周年栽培 スマートグリーンハウスの実証試験を開始 ジャパンプレミアムベジタブル(株) COO	吉田 重信 氏		
15:00~15:30	[EX-04]	「倍速栽培法」(TB-Blue法)による ジャストサイズ植物工場システムの構築 グリーンテックアンドラボ(株) 代表取締役	鈴木 廣志 氏		
7月16日(木)					
10:30~11:00	[EX-05]	決定打が見えない高温対策に、現場のヒントを ―イノチオファーム豊橋の実践事例 イノチオアグリ(株) 技術本部 専務執行役員 技術本部長	大門 弘明 氏		
11:15~11:45	[EX-06]	種苗会社(株)サカタのタネが提供する環境制御システム 「アルスプラウト」のご紹介 (株)サカタのタネ ソリューション統括部	村山 雄亮 氏		
13:30~14:00	[EX-07]	IIJとソニーのDNAで挑む～独自技術による新たな土壌水分センサの革新～ (株)センシフィア 取締役/CTO/センシング技術開発担当	堀井 昭浩 氏		
7月17日(金)					
10:30~11:00	[EX-08]	高温障害・豪雨リスクを抑える 一環境変化に強いビニールハウス設計 イノチオアグリ(株) 技術本部 製造部 部長	林 大策 氏		
11:15~11:45	[EX-09]	補光技術を用いた多収・安定化への新たな挑戦 「トマト・キュウリ栽培での実証と効果」 シグニファイ、Philips ホルティカルチャ LED プラントスペシャリスト マハルジャン ガウリ(Gauri Maharjan) 氏			
12:45~13:15	[EX-10]	東都興業×コラボで挑む！ 気候変動と人手不足を乗り越える次世代農業プラットフォーム 東都興業(株) 大阪支店 課長 本社営業二部	小沼 周平 氏 岩崎 和真 氏 吉田 綾 氏		
13:30~14:00	[EX-11]	養液栽培、導入して終わりじゃない！ 栽培まで伴走するトヨタネ栽培サポートのご紹介 トヨタネ(株) 栽培支援部 研究農場	神原 正樹 氏		
14:15~14:45	[EX-12]	「倍速栽培法」(TB-Blue法)による ジャストサイズ植物工場システムの構築 グリーンテックアンドラボ(株) 代表取締役	鈴木 廣志 氏		

聴講者の声

次回、どのような分野・テーマのセミナーを希望しますか？

- ・植物工場における水質維持に関して【植物工場事業者】
- ・根菜類、穀物系農作物の植物工場に関して【農業関連事業者】
- ・農林水産省による「みどり加速化GXプラン」について【業界報道関連】
- ・最新の水耕栽培技術に関して【農業生産者】
- ・完全人工光型植物工場に関して【植物工場事業者】
- ・業界参入後の出口戦略の紹介【資材関連企業】
- ・温暖化をはじめとする、今後の問題に対する対策【流通・小売関連】



⑨ 来場誘致

◎業界紙誌への広告・記事掲載

主催者および事務局より、生産者に広く講読されている業界紙誌を中心に来場誘致広告を掲載。また、会期1カ月前には記者発表会を実施し、展示会の概要から見どころまで情報提供を行うことで、各種媒体の記事掲載を働きかけた。

広告・記事掲載：アグリジャーナル、花卉園芸新聞、現代農業、施設と園芸、水産経済新聞、全野研ニュース、日本農業新聞、日本農民新聞、熱産業経済新聞、農機新聞、農業共済新聞、農経しんぼう、農業資材通信、農村ニュース、フィッシュリージャーナル（五十音順）

◎Web

公式Webサイトでは、主に出展者情報をはじめとし、セミナーや併催行事、会場MAPなどの情報を順次公開していった。Webからの事前来場登録制とし、合わせてセミナー聴講登録も受け付けることで、来場意欲を喚起づけた。出展者情報は「出展者情報一覧・検索」ページへ掲載。展示製品の写真や紹介動画の掲載、カタログダウンロード機能により、会期前から詳細な情報収集が可能な作りとした。また、幅広い層に向けた情報発信を念頭に、農業・水産関連の情報を扱う各種Web媒体へ開催告知記事やバナー広告を掲載した。

◎メールマガジン

過去年来場者、事前来場登録者を中心にメールマガジンを定期的に配信した。当日の来場誘致のきっかけとなるよう、セミナーや主催者展示コーナーなどの併催行事の情報発信行った。また、業界関連媒体が配信するメールマガジンにも展示会情報を掲載し、来場層の拡大につなげた。

◎案内パンフレット

出展者一覧とセミナースケジュール、併催行事といった展示会情報を網羅した案内パンフレットを作成した。主催者、出展者、後援・協賛団体等の関係者を通じ、来場対象となる農業・水産業生産者、農材店、農業大学校・高校、新規参入事業者を中心とした全国の業界関係者へ大量配布した。

